



練り込みタイプ難燃レーヨン

DFG®

**Daiwabo Rayon Co., Ltd.**

TEL : 06-7635-3290 (代表) FAX : 06-7635-3291

URL : <http://www.daiwabo.co.jp/rayon/>

# 難燃レーヨン「DFG」<sup>®</sup>

難燃性能を謳った製品は市場にたくさんありますが、当社はセルロース系繊維の内部に難燃剤を分散保持させた難燃繊維 **難燃レーヨン「DFG」** を開発しました。素材自体を難燃化したレーヨン繊維なので難燃性能の優れた耐久性とレーヨン特有の風合い・触感・吸湿性を兼ね備えています。また、生分解性を有するセルロースを難燃化しているので環境に優しい素材です。

## 1. 特徴

### (1) 素材から難燃化

- \* 多くの難燃素材は、吸湿・吸水性が乏しいですが、DFGは普通レーヨンと同様、吸湿・吸水性が優れています。
- \* DFGは、普通レーヨンと同様の繊維構造を持っていますので、レーヨン特有の風合い、触感を有しています。
- \* DFGの難燃性能は、優れた耐久性を有しており、通常の家計洗濯やドライクリーニングによる性能低下はありません。

### (2) 熱的特性

- \* DFGは、熱収縮性、熱溶融性がないため一般の合繊のように加熱によって変形や収縮を起こしません。
- \* DFGは、溶融物が肌に付着して火傷する二次災害は起きません。

### (3) 燃焼ガス

- \* DFGは、ハロゲン系の薬剤は含んでいないので燃焼時にハロゲンに由来する有害ガスを発生しません。
- \* 発煙量は他繊維と比較しても少なく、シアンガスの発生もありません。

### (4) 他素材との混用

- \* DFGは炭化する作用によって難燃性能を発揮します。他素材と混合使用する場合は、適性を確認下さい。

### (5) 廃棄時の処置

- \* DFGは、セルロース系繊維であるので一般的な綿製品と同様に廃棄できます。特殊な処理は不要です。

## 2. 難燃性能

(1) 限界酸素指数 (LOI 値) 28

(2) 45° ミクロバーナー法 (着炎 3 秒加熱)、45° メセナミン法に合格します。

(\* 注意) 難燃性は加工後の形態 (織、編、不織布等) や組成、目付、厚み等によって異なるので、実際の使用にあたり、事前の製品の使用環境を想定したテストが必要になります。

## 3. 安全性

DFGは、ハロゲンやアンチモンを含まないリン系の難燃剤を使用しています。

## 4. テクニカルデータ

表 物性値

		DFG	レギュラーレーヨン
正量織度	(dtex)	1.7	1.7
乾強度	(cN/dtex)	1.9	2.3
湿強度	(cN/dtex)	1.0	1.3
乾伸度	(%)	17.5	18.0
湿伸度	(%)	21.0	22.0
白色度	(%)	91.5	94.0
LOI		28	18~20



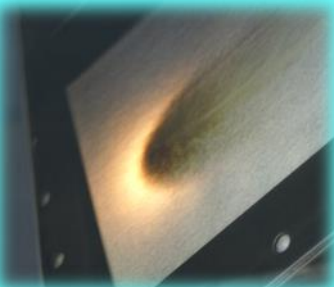

表 45° ミクロバーナー法による燃焼性試験 (着炎 3 秒加熱)

	残炎時間 (秒)	残ジン時間 (秒)	炭化面積 (cm <sup>2</sup> )
DFG	1.5	1.5	19
規格値	<3	<5	<30

サンプル : 200g/m<sup>2</sup> スパンレース

規格値 : JIS L 1091 A-1 法 区分 3 (消防法に適合)

写真 燃焼性試験の様子










サンプル	DFG	難燃ポリエステル
下方より撮影		
上方より撮影		

※難燃ポリエステルは溶融し穴が開いてしまいますが、DFGは炭化して形状を保持します。

表 難燃性能の耐洗濯性・耐ドライクリーニング性試験

	結果	処理方法
未処理	○	—
洗濯後	○	JIS L 1018 8.58.4b)6.2) F-2
ドライクリーニング後	○	JIS L 1018 8.58.4b)5.2) E-2
レギュラーレーヨン	×	—

写真 洗濯・ドライクリーニング後の簡易燃焼試験の様子

	着火前	着火	火元消火後
未処理			
洗濯後			
ドライクリーニング後			
レギュラーレーヨン	